

---

# 月

ジラーが笑った日

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

月

### 【著者名】

ZZマーク

### 【作者名】 ジラーが笑った日

### 【あらすじ】

自分を飾った月、どんどんと混ざっていく、月と生命。  
そして傍から見つめるは、地球。

今を生きる、月の話。

迷子の兎が一匹、一匹。今日は誰を連れてこよ。流された蟹が一匹、一匹。今日は誰に会いに行こ。泣いてる女の子が一人、一人。今日は誰とあそぼうか。

私は孤独。助けてほしい。だけど、誰も助けてくれない。この広い、広い気の遠くなるような宇宙に浮かんでいる私はいつたい誰に助けを求めればいいんだろう。助けて。同情して。私をここから救つて。せめて、愛して。

子供を奪われ、泣く親たち。それを哀れみ、ほくそ笑む周囲。親は悲しみ、嘆き、ついには上を見上げる。

「子供を返して」と。

私は一人考える。月は知っているだろ。涙が種になり、星の華が咲く事を。自分の行う罪の重さを。我には生命がある。だが月には、無い。月はどうするか。輝くために、奪うのだ。宇宙にゆらゆらと浮かぶ、船のように。高波に呑まれまいと、抵抗する。抵抗をする事で壊れる者がある事も知らずに。

今日も迷子の兎を連れてこよ。兎は私の上に乗る。怯えているが、じきに馴れてくれるだろ。まあ、楽しいよ。一緒にいよ。おいで、かわいい兎ちゃん。母さんはもう要らないよ。私の方がきっと良い母親になるから。

けれど、迷子の兎は泣き叫ぶ。

「お母さん」

なぜ私を愛してくれないの。こんなにも思つてゐること。

月の船はゆらゆら進む。今日も兎は船の上。泣き泣き母さん探してる。涙が星の種になり、咲いて輝く宇宙の華。いつかは兎、泣きつかれ、孤独で一人、死んで行く。

月が下に落ちる時、兎も供に落ちて行く。下に、下に、下に。月は一人で嘆き悲しむ。そして今日も、子供をさらつ。あなたは見上げる、優しい月を。そこに浮かぶ月を見ては一人落ち着く。その輝きは人の悲しみ。

なんで皆、死んでくる。私をおいて、いかないで。  
助けて。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7162m/>

---

月

2010年12月31日00時49分発行